

令和2年9月吉日

(一社) グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)
代表理事 辰野 まどか
(公 印 省 略)

令和2年度 文部科学省「新時代の教育のための国際協働プログラム」実施に伴う 教員交流研修参加者（国内コース・海外コース）募集について（依頼）

拝呈 梅雨寒の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当社団では、文部科学省からの委託による令和2年度「新時代の教育のための国際協働プログラム」実施に伴い、下記の通り教員交流及び教育実践・研究に参加する参加教員を募集しております。コロナウイルス禍において学校機能の制限がある中ではございますが、何卒事業趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますようお願いいたします。

謹白

記

事業テーマ：技能教科を活用したメーカー（ものづくり、作り手）教育/クリエイティブラーニングを通じた「持続可能な社会の創り手」意識と行動変容をもたらす教育の研究：教科横断型学習を生み出すカリキュラムマネジメント及び教員連携を生み出す教員養成、学校運営

実施背景：

新学習指導要領改定にあたり「持続可能な社会の創り手」の育成が教育の重要理念となり、「行動変容」を促す学習が求められ、様々な形で実践されている。アメリカ合衆国やブラジル合衆国では「創り手」意識の醸成に技能教科を活用し実際に物づくり（メーカー教育）やクリエイティブ学習の実践を通じた、より多様な表現方法や多角的視点に基づいた協働学習を促進し、社会の創り手意識や社会参画意識の向上に寄与する学習デザインが行われている。また、当社団が実践している実際に社会に貢献する学びを通じた社会・情動スキル、より良い社会を作る意思＝グローバルシチズンシップ育成のための内発的動機付けといった「変容を促す教育」の実践においても、学術的な探究・発表に加え調理やワークショップのデザイン、アート作品や物づくりといった多様なアウトプットが様々な関心を持つ生徒の変容に寄与していると考えられる。

これに加え、昨今の新型コロナウイルス禍によって学校のあり方が問われる状況において、「学校で学ぶ」から「学校と学ぶ」など、新時代の学校教育をデザインする上でも、柔軟かつより統合的なカリキュラムマネジメント、ICTと対面のハイブリッド型学習、こうした活動を学校全体として行うための学校運営、実践を可能にする教員連携・養成などがより重要となってくることが考えられる。

メーカー（作り手）教育やクリエイティブ教育は、今後のICTを活用した授業の質的向上においても多くの可能性があり、オンラインでの学習においても、「持続可能な社会の創り手」の醸成は学習の中心に添えることができる。上記を鑑み、本事業においては、未来の学校教育を見据え、技能教科を中心としたメーカー教育、クリエイティブ教育を通じた持続可能な社会の創り手の育成に向けた学習デザインの実践や研究を行い、令和3年度以降にこうした複合的な学習活動を普及していく上での①研究、②教員交流・実践、③発信、提言を行うものである。